

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 上田市博物館協議会 |
| 2 | 日 時 | 平成25年5月11日 午前10時から正午まで |
| 3 | 会 場 | 上田市立信濃国分寺資料館 講堂 |
| 4 | 出席者 | 横澤 瑛委員、野々村孝子委員、塩入法道委員、増田榮美委員、堀内 泰委員、
宮澤かほる委員、倉嶌勝夫委員、手塚若子委員 |
| 5 | 市側出席者 | 倉澤博物館長、尾見係長、坂部資料館長、児玉指導主事 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成25年5月12日 |

協 議 事 項 等

- | | | |
|---|----------------|--|
| 1 | 開 会 | (坂部資料館長) |
| 2 | あいさつ | (倉澤博物館長) |
| 3 | 博物館協議会の活動について | (倉澤博物館長) |
| 4 | 協議事項 | |
| | (1) 議題の概要 | |
| | ① 自己紹介 | |
| | ② 会長及び会長代理選任 | |
| | ③ H24 事業報告について | |
| | ④ H25 事業計画について | |
| | ⑤ その他 | |
| | (2) 審議概要 | |
| | ① 自己紹介 | 欠席の飯島新一郎委員、島田洋子委員の2名を除き自己紹介。 |
| | ② 会長及び会長代理の選任 | 全員一致で会長に横澤 瑛委員、会長代理に塩入法道委員に決定。 |
| | ③ H24 事業報告について | |
| | (事務局) | 市立博物館、丸子郷土博物館、武石ともしび博物館、信濃国分寺資料館の順で報告。 |
| | (委員) | 博物館や資料館の仕事には展示、公開は勿論であるが、資料の収蔵及び保管という面でも積極的に行って欲しい。そして、一般の来館者だけでなく、研究者を対象とした講座も開いていただきたい。 |
| | (委員) | 特別展や企画展の時期は、妥当なのか。展示の内容にもよるが、上田市民や近隣の人を対象にした内容ではなく、もっと広い範囲の人たちに発信する内容であれば、観光シーズンに合わせた時期に開催することもいいのではないか。 |
| | (委員) | 市立博物館の「写真で見る上田城跡」という特別展は、桜の咲く時期に開催したのか。 |
| | (事務局) | 千本桜まつりの期間に合わせた開催とした。しかし、本展の開催にあたっては、大勢の方に観覧していただき、「我が家にも上田城の古い写真がある」という新しい資料の発掘も一つの狙いであったが、結果的に新しい情報はなかった。 |
| | (委員) | 先日、「博物館の展示が変わってきた」という声を聞き、嬉しく感じた。展示をするには、「これを見てください。」という目玉を作らなければならない。今後もそうした展示を期待します。 |
| | (事務局) | 展示の内容や手法についてもさらに努力して参ります。 |

④ H25 事業計画について

(事務局) 市立博物館、丸子郷土博物館、武石ともしび博物館、信濃国分寺資料館の順で説明。

(委員) 特別展(企画展)や講座、教室などの広報をしっかりとやって欲しい。例えば、市の広報紙の表紙にカラー写真などで取り上げていただくなど、積極的なPRを期待。

(事務局) 市の広報紙をはじめケーブルテレビや新聞等にも情報を提供して参ります。

(委員) 資料のデータベース化とあるが、作業は進んでいるのか。

(事務局) パート職員により、現在も進められている。

(委員) 以前、訪れた博物館で展示について説明はできないと言われ大変残念な思いをしたことがある。

(委員) 先ほども言ったが、展示に目玉があると見た人は残念な思いをせず、とても得をした気分で帰ることができるので、展示には是非とも気を配っていただきたい。

(事務局) 分かりやすい展示や説明に心がけます。

(委員) 資料館は、秋に縄文時代をテーマにした企画展を予定しているが、縄文のビーナスなどを借りて展示などはできないか。

(事務局) この資料館は、重要文化財クラスの資料を展示するための条件が整っていないため他館から借りて展示することが不可能である。

(委員) 本年度もスタンプラリーを市内博物館共通で行うようであるが、成果はあるのか。

(事務局) 全6館を一日で回することは、なかなか大変なことであるが、何日かに分けて回ったという方もいる。各館でもそうした方があり、それなりの成果はあると考えます。

(委員) 例えば、6館のうち半分回ったら一つの景品というポイント制という方法もあると思います。

(事務局) 検討します。

(委員) 市内の学校は、ここ(信濃国分寺資料館)へ全部の学校が来ているのか。

(事務局) 遠足などで、多くの小学校は来てくれるが、目的は史跡公園でお昼の時間を取ることが多い。しかし、市内の小中学校の全校へ「出前講座」のお知らせを出して希望する学校が昨年より増えています。

(委員) 博物館や資料館へ何度も来館してくれるリピーターの確保も大切な課題である。

(事務局) 今後も、本日いただいた御意見を参考に事業の内容を精査し、魅力ある学芸活動を心がけて参ります。

⑤ その他

(事務局) 会議終了後、信濃国分寺資料館特別展「信濃国分寺 寺宝展」をご高覧ください。

6 閉 会 (坂部資料館長)